

自分の命を大切に

小 六

ニュースなどを見てみると、中学生や高校生が自ら命を絶つという報道を見かけることがあります。私は、そのことを知るたび、いつも心が痛くなります。辛さや悲しさから自分の意思で生きることをあきらめてしまう人がいるということとは、とても悲しいことです。

人はみんな、命がけで母親に産んでもらっています。それなのに、自分の手で母親から授かった命をなくしてしまふ人もこの世にはいます。

私は、小さいころ、病気で母親を亡くしました。母が亡くなる前、私は母

から急にこんなことを言われました。

「お母さんが天国へ行っちゃったらあなたはどうする？」

私はおどろきました。とつさに言いました。

「私も天国に行く。」

母は、しばらくの間、だまっていた。でも、急におこった顔をして、「二度とそんなことを言わないで。」

と言いました。母は少し厳しい人でしたが、こんなにおこった顔をしたのは初めてでした。私はびっくりして悲しくて泣きながら、わけも分からないまま、走ってその場から逃げました。歩けない母は私を追いかけることはありませんでした。私は頭が混乱していました。

あのころ分からなかった母の言葉を、

今では理解できるような気がします。簡単に自分の口から「命をむだにする」なんて言うてはいけない。一つしかない命を自分からなくそうとしない。母は、それを最後に私に教えてくれたのだと思いました。もしかしたら、私が返す言葉を予想できていたのかもかもしれません。しかし、私はこの経験で、自分の命の大切さを考えられるようになりしました。母には感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも、自分の命を大切にしながらやんでいる人を助けられるような人でいたいです。